

mc²36



SMALL FOOTPRINT
BIG PERFORMANCE



SLEEK
STUNNING
STELLAR

mc²36

SMALL FOOTPRINT – BIG PERFORMANCE



mc²36

SMALL FOOTPRINT – BIG PERFORMANCE

SLEEK. STUNNING. STELLAR.

コンソールのフットプリントを可能な限り小さくする一方で、機能を絶え間なく向上させる」そんな LAWO の願いが具体的に表現されている、mc²36 mk II。大成功を収めた LAWO mc² コントロールサーフェスシリーズのメンバーである mc²36 は、同シリーズで高い評価を受けている機能群の多くを採用しているだけでなく、劇場、礼拝堂、企業、ライブおよびブロードキャストオーディオアプリケーション用のコンパクトミキシングコンソールが提供しなければならないものを、完全に再定義しています。

先代よりもすっきりとしたデザインでありながら、48kHz と 96kHz の両方で 2 倍の DSP チャンネル数を誇る mc²36 mk II。業界標準のオーディオ入出力をすべて内蔵し、ネイティブ IP 接続を中心に、大型の兄弟機と同様の優れた利便性を実現しています。

mc²36 は、LAWO 最新世代の A__UHD Core ソフトウェアディファインド・プロセッシングテクノロジーを搭載。IP 技術が提供する驚異的な柔軟性をすべて実現していますが、直感的なツールによってベースバンド時代のように簡単にセットアップと管理をすることが可能です。このコンソールはあらゆる種類のリモートアプリケーションに対応しており、A__stage IP ステージボックスとのポイントツーポイント接続など、現場でのシナリオも簡単に展開できるのです。

他の追従を許さないサウンドプロセッシングクオリティを持つ A__UHD Core のパワー、LAWO グレードのマイクプリアンプを備えたローカル I/O、そして mc² シリーズ上もっともコンパクトなコンソールサーフェスを組み合わせた、IP ネイティブな製品。それが mc²36 mk II なのです。

*) リリース予定

mc²36

OVERVIEW

AT A GLANCE

- A__UHD Core 技術を採用したオールインワン・コンソール
- LAWO グレードのマイク・プリアンプを含む内蔵入出力
- 16、32、48 フェーダーを収容するフレーム
- 256 個の DSP チャンネル
- 864 チャンネルの入出力容量
- 48 kHz および 96 kHz* 運用
- HOME - アナログのようにシンプルな IP セットアップ
- 関連 IP 規格 ST2110、AES67、RAVENNA、Ember+、NMOS* をネイティブ・サポートし、IP ベースのインフラ向けに設計

THE POWER OF DENSITY

新 mc²36 は歴代最小の mc² コンソールですが、同ファミリーの名高いクオリティを一切犠牲にしていません。本機は優れた音質と LAWO 社ならではの高評価の信頼性と使い易さを、狭い場所に配置できるフットプリント内に 1 つにしました。16 フェーダーの OB トラック・バージョンの幅はわずか 76.5 cm というこのコンソールは高性能を要求しつつもスペースが限られた設置に最適です。48 フェーダーの OB トラック・バージョンも幅 127.5 cm に過ぎません。

HIGH PERFORMANCE FADERS

新 mc²36 は mc²56 のものと同じ防塵型の長寿命高性能フェーダーを備え、スムーズで正確なフェードを長期にわたって提供します。

ENHANCED COLOR CODING

ボタン・グローとタッチセンス式自照多色エンコーダーに加えて、新たなカラー TFT によってチャンネル・ストリップにより明確なカラーコードを施せるようになり、薄暗い場合でもはっきりと視認して素早くアクセス可能です。

mc²36

INTERACTION

A PERFECT SYMPHONY OF HARDWARE & SOFTWARE CONTROLS

mc²36のユニークなデザインは、大型スクリーンを背の低いオーバブリッジに収めてエンジニアの視野を損なうことなく人間工学的に優れたスタイルを作り出しています。本機の21.5インチ超高精度フルHDタッチスクリーンはタッチセンス式の自照多色ロータリー・エンコーダーと連携して動作します。イコライザーのエンコーダーに触れるとイコライザー・ウィンドウが自動的にポップアップし、パラメーター調節後はユーザー操作不要で自動的にウィンドウは閉じられて以前の概要表示に戻ります。

SUPER-PRECISE HD TOUCH-SCREENS

新mc²36は最新鋭の静電式21.5インチ・フルHDタッチスクリーンを備え、機械的な煩文さと超高精度の制御を提供します。

TOUCH-SENSITIVE COLOR-CODED ENCODERS

INPUT METERING

COLOR CODING

CUSTOMIZABLE FADER USER BUTTONS

LIVEVIEW™ VIDEO LABELS

チャンネルアサインや個別テキスト・ラベルと静止画像やアイコンによる標準的なチャンネルのラベル表示に加えて、mc²36 はより直感的なチャンネル識別が行える mc²96 の LiveView™ ビデオ・サムネイルを引き継ぎました。フェーダーに触れるだけで LiveView™ サムネイルがフルスクリーン・モードに変わって、カメラやプレイバック・マシン等のそのチャンネルのビデオ・ソースのより詳細なビューを提供します。

mc²36

OVERBRIDGE



REMOTE DESKTOP

LAWO が実装した Remote Desktop 機能は、サードパーティー製ソリューションが動作する複数の外部 PC をコンソールのユーザー・インターフェイスへシームレスに一体化できます。ボタン切り替え 1 つで、外部 PC とそのソフトウェア・アプリケーションがコンソールのスクリーン内に表示され、コンソールのキーボードやタッチパッドやタッチスクリーンが制御を提供します。外付けのレコーディング・システムやエフェクト・エンジンやその他のユーザー・インターフェイスをシームレスに統合するということは、機材の数が少ないということです——エンジニアは中央の自席から簡単にセットアップ一式を制御下に置くことができます。

INTEGRATED LOUDNESS METERING

元々放送用に求められ、LAWO 社は内蔵ラウドネス・メータリングを開発してライブや劇場等の用途でも便利なツールとしました。これは ITU 1770 (EBU/R128 または ATSC/A85) に準拠したラウドネス制御を提供し、ピーク/ラウドネス・メータリングを個別または組み合わせで利用可能にします。LAWO のラウドネス・メータリングは SUM 以外に個別チャンネルも計測でき、これによってバックグラウンド・シンガーやプラス・セクションやストリングスやコーラス用のマルチマイク・セットアップ向けの素早く便利な「視覚的」ミキシングが可能になります。

CUSTOMIZABLE OVERBRIDGE VIEWS

本コンソールのオーバーブリッジはチャンネル表示を適宜調節することでユーザーの要求に合わせるすることができます——重要なパラメーターを表示し、不要なもしくは邪魔になる要素を非表示にするように選択するだけです。全フェーダー・レベルは HD ディスプレイ上に恒久的にメーター表示されます。さらに、多段メーター表示によって他のレイヤーやバンクからの信号の恒久的なメーター表示が可能です。

mc²36

CONNECTIVITY

REDUNDANT AUDIO-OVER-IP PORTS

mc²36 は関連 IP 音声規格 (ST2110-30/-31、AES67、RAVENNA) ならびに ST2022-7 クラス C によるシームレス・プロテクション・スイッチング (SPS) を用いたネットワーク・リダンダンシーをサポートするネットワーク入出力ポートのリダンダントな 3 ペアを備えます。各ネットワーク・インターフェイスは最大 256 音声チャンネルに対応し、768 チャンネルという総 IP 入出力数が得られます。LAWO A__stage ユニットは標準 IP ネットワーキング以外にも、二地点間接続が追加のネットワーク・インフラなしに可能です。

本機のネットワーク・インターフェイスには Neutrik etherCON や Neutrik opticalCON DUO、HiCon HI-FIBER-4FD あるいは Fiberfox EBC 1502 コネクタを用いた RJ45/SM/MM が用意されており、外部の入出力機材への堅牢な接続能力を提供できます。



LOW-NOISE DESIGN

mc²36 は低電力消費になるように最適化されており、そのため冷却に静音の低回転ファンを使うことが可能になっています。このことはファンの騒音が邪魔になる静かなコントロール・ルームのような環境では特に重要です。

HOME

A__UHD Core を用いる IP ネイティブなデバイスとして、mc²36 は IP セットアップをアナログのようにシンプルにする LAWO 社の HOME 機能を搭載します。このコンソールは機器を自動的に検出し、ボタンの 1 押しでコンソールが利用できるようにします。デバイス管理にはアクセス制御や未知の機器の隔離といった必要とされるセキュリティ機能も含まれています。HOME はライブ制作環境のあらゆるものを接続・管理・保護すべく設計された IP ベースのメディア・インフラ用マネジメント・プラットフォームです。

COMPREHENSIVE ONBOARD I/O

mc²36 の包括的なローカルな入出力には、LAWO グレードのマイク / ライン入力が 16 系統、ライン出力が 16 系統、AES3 入出力が 8 系統、GPIO が 8 系統、ならびに SFP を用いたローカルな MADI ポートが 1 基あります。

mc²36

SMALL FOOTPRINT – BIG PERFORMANCE



mc²36 – 16 Fader Version



mc²36 – 32 Fader Version



mc²36 – 48 Fader Version*
16 個の追加フェーダーをデュアルフェーダー配置に
したコンパクトな 32 フェーダー・シャーシ

*) 2021 年第 3 四半期にリリース予定

mc²36

CENTRAL CONTROL SECTION



PARALLEL COMPRESSION

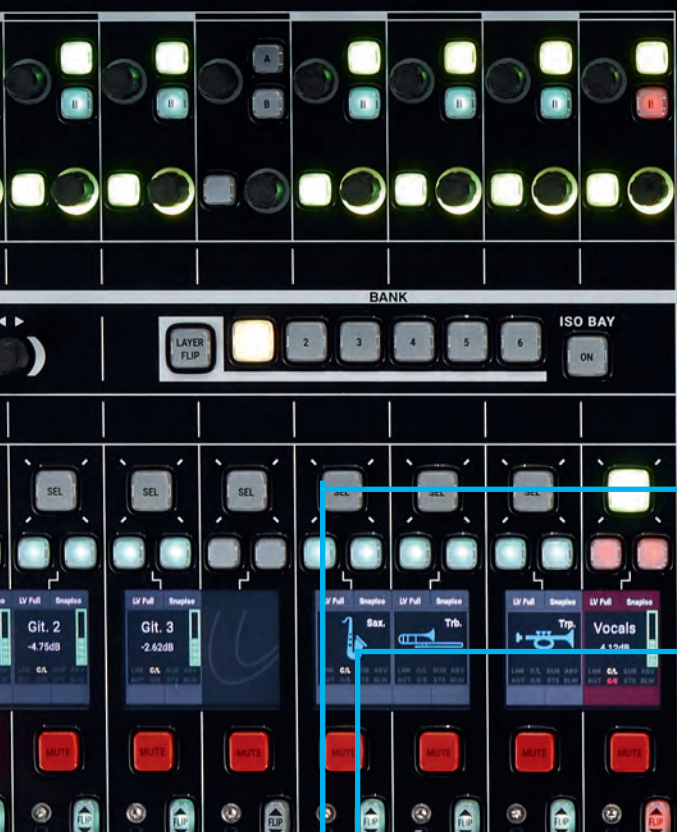
ニューヨーク・コンプレッションとしても知られているパラレル・コンプレッションは、ドライ信号と同じ信号の圧縮されたバージョンにブレンドして実現されるダイナミック・レンジ・コンプレッション技法です。ダイナミック・レンジ・リダクション目的で最も高いピークを下げるのではなく、その代わりに最も小さな音を持ち上げることでダイナミック・レンジを狭めてディテールが聞こえるようにします。パラレル・コンプレッションはmc²36の各チャンネルやグループ、AUXおよびSUM内で適用できます。

INTUITIVE MONITORING

セントラル GUI のモニタリング・セクションは再設計され、簡単にアクセスでき、柔軟性が高まり、ユーザーの要求に容易に応えられるようになりました。

IMMERSIVE BY NATURE

mc²36 はサラウンド・サウンドのミキシングのための優れたツールを提供するだけでなく、専用のエレベーション・コントローラーも標準装備します。このため mc²36 は、MPEG-H や Dolby Atmos® 等の次世代音声フォーマットやライブ・サウンド用途のイマーシブ・ミキシングのためのフューチャープルーフな選択肢となっています。



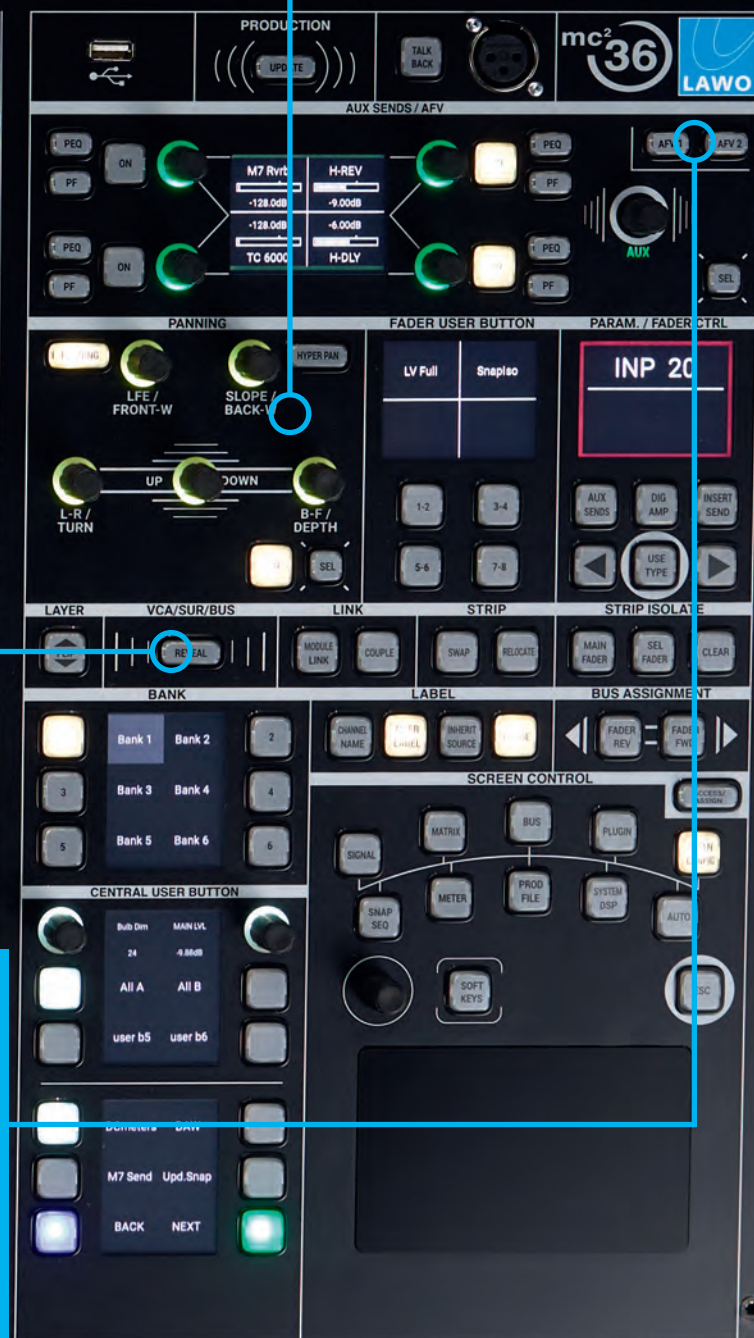
REVEAL & REVEAL IN PLACE

Reveal 機能は VCA とサブグループと AUX の自動的な入力並び替えを可能にします。専用 VCA/ サブ /AUX フェーダーに Reveal を稼動させると、コンソールはその特定グループの全チャンネルを事前に決めておいた場所に展開して、それらのチャンネルが本来どのバンクやレイヤーにあるかとは無関係に即座のアクセスを提供します。さらに素早くアクセスするには Select ボタンを押したままにすることで Reveal-in-Place を稼動します。Reveal を解除するとコンソールは以前のフェーダー・レイアウトに戻ります。これによって大規模な制作をフェーダーを多数必要とせずを使い勝手良く扱えるようにします。



AUDIO-FOLLOW-VIDEO

自動化された切替そして映像と音声の完璧な組み合わせ——これらすべてを mc²36 の Audio-follow-Video 機能が提供します。各カメラ・タリーはイベントに割り当てられ、1 つまたは複数のチャンネル内で選択できます。全部で 128 個のイベントを利用可能です。Rise-Time、On-Time、Hold-Time、Max-Time、Fall-Time の各パラメーターを用いて処理エンベロープを設定でき、驚くほど滑らかで自然な音のするカメラ切替を行えます。



mc²36

FEATURES

AUTOMATED MIXING ASSISTANTS

mc²36 の自動化ミキシング機能には、自然なサウンドの安定したアンビエント・レベルを保ちながらアクティブなマイクとそうでないマイクのレベルを自動的に調節できる Automix があります。特に複数のプレゼンターやパフォーマーがいるライブ制作に便利な機能です。Automix はモノ/ステレオから複数サラウンド・チャンネルまでの任意の信号に使用して、カラーレーションを減らし、バックグラウンド・ノイズとクロストークを最小限に抑えることができます。発言の冒頭が切れたりフェード・インが遅れたりすることは過去のものとなり、サウンド・エンジニアは全体的なバランスと音質に集中できます。本コンソールはダウンミックス機能を、そしてごくわずかのパラメーターだけで驚くほど迫真のサラウンド・サウンドへのステレオ信号の完璧な変換を保証することで評価の高い LAWO AMBIT アップミックス機能も備えます。また mc²36 はサッカーやホッケー等の球技向けの LAWO 社の自動化ミキシング・ソリューション KICK 2.0 にも対応しています。

LISTEN SENSE

LAWO 社独自の Listen Sense 機能は EQ やダイナミクスのようなチャンネル・パラメーターのオフライン変更を可能にします。サウンド・エンジニアは聴衆に気付かれずに設定を調節してその結果を PFL で試聴し、調節が完了したら設定をオンラインに切り替えられます。例えば事前にチャンネルに EQ をかける時間なしにライブのセットアップが変更されたときに、Listen Sense 機能を使って気が付かれないようなサウンド調節を行えます。

WAVES® PLUGIN INTEGRATION

LAWO mc²36 はクラス最良の Waves SuperRack SoundGrid® サーバー統合を実現しており、コンソール内部のプロセッシング・エンジンに加えて広範なリアルタイム信号処理のためのソリューションも提供します。このシステムによってオペレーターは Waves 社の広範なプラグイン・セレクションにアクセスして、リバーブやマルチタップ・ディレイ、グラフィック・イコライザーあるいはマルチバンド・コンプレッサーのようなプラグインを、コンソールのキーボードやタッチスクリーンやロータリー・エンコーダーを介して手軽に制御できるようになります。スクリーンや制御装置を追加する必要はありませんので、最小限の外付けハードウェアしかないクリーンな作業スペースが出来上がります。プラグイン設定はすべてコンソールのスナップショットおよびプロダクション・ファイルに簡単に保存 / 呼び出しされます。

POWERED BY A__UHD CORE TECHNOLOGY

他のコンソールと違って mc² エンジンは全チャンネルの使用中でもクオリティを損なうことなく完全に独立したアルゴリズムを常時提供します。LAWO 社はスナップショットの全コンソールにわたる互換性を提供し続けて、mc²36、mc²56、mc²96 の各コンソール間でのプロダクション・ファイル交換を維持します。どの mc² コンソールでもそうですが、ユーザーは制約なしに全 DSP モジュールの順番を簡単にアレンジし直すことができ、制作上の自由が広がりコンソールの多機能性が高まります。

1 INMIX

Inmix モジュールはゲインやバランス、ローカット・フィルタ、M/S デコーダー等を含めてアナログとデジタルのソースのプリアンプリフィケーションを制御します。

2 DELAY

LAWO の Delay モジュールはクリック・ノイズのない 1.8 秒までのディレイを提供し、ライブ制作時に聴いても分からないようなディレイ調節が可能です。用途に応じた設定によってディレイをメートル（ライブ PA システムのディレイ補正用）/ ミリ秒 / フレーム（放送用）間で切り替えできます。

3 DIGIAMP

Digiamp はチャンネル内の増幅度を変更するための追加モジュールです。

4 DYNAMICS

mc²36にはゲート、エキスパンダー、コンプレッサー、リミッターという独立した4つのダイナミクス・モジュールがあります。これらは互いに独立してチャンネルの信号経路内のどこにでも配置可能です。ダイナミクス・モジュールは極めて正確であり、不要なカラーレーションをサウンドに追加しません。ダイナミックな大変化があっても可変「ルックアヘッド」機能によってソースのサウンド特性は保たれます。このリミッターは高品質のブリックウォール・リミッターとして使用できます。

5 EQ

このコンソールはイコライザー、フィルター、サイドチェーン・フィルターという独立した3つのEQモジュールも提供します。EQは4バンドのフルパラメトリックです。2バンドのフィルター・モジュールはEQから独立して信号経路内のどこにでも、例えばダイレクトアウトの前段などに配置できます。さらに2バンドのサイドチェーン・フィルターはゲートまたはコンプレッサーに適用できます。

6 IMAGE

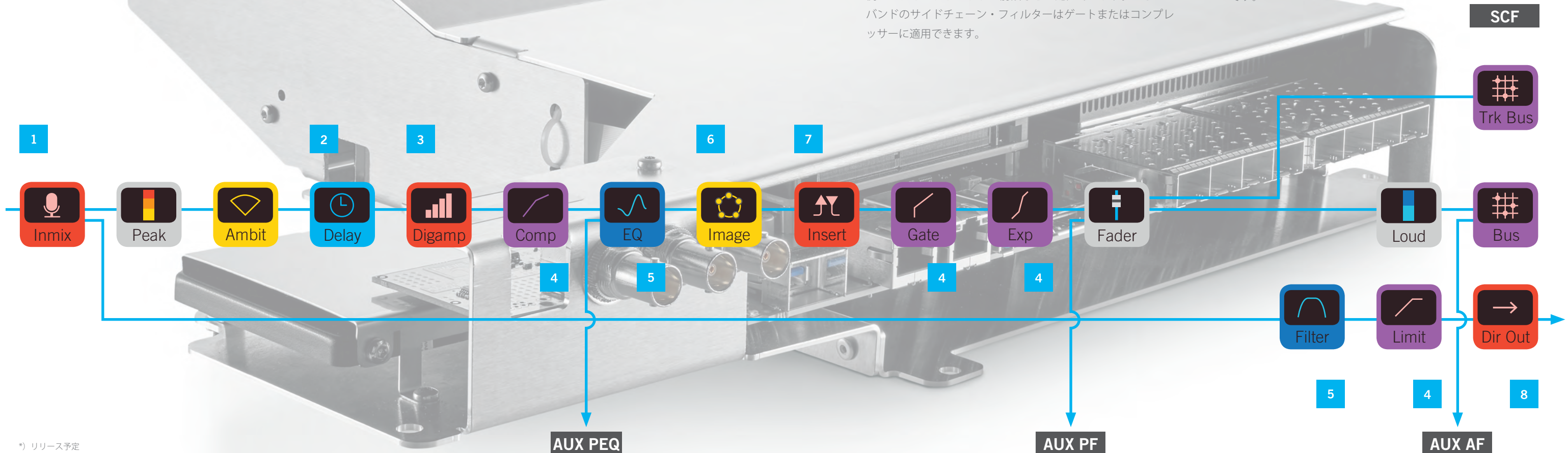
Image 機能はステレオ音像と方向の精密な調節が可能です。アンビエンス・マイクロフォンに使用してパノラマを広げたり、ステレオ・エフェクトを失うことなく同じミックス内の複数のステレオ・ソースを配置したり組み合わせることができます。

7 INSERT

チャンネルのディレイに影響することなくいつでも Insert 機能を稼働できます。

8 DIRECT OUT

Direct Out モジュールはミュートと調節可能な出力を備えます。全モジュールは自由に割り当てできます——例えばリミッターと2バンド・フィルタはメイン・ミックスに影響することなくレコーディング用にダイレクトアウト・バスに割り当て可能です。



HIGHLIGHTS FOR BROADCAST

- 関連 IP 規格 (ST2110、AES67、RAVENNA) をネイティブ・サポートする IP ベースのインフラ
- 先進のミックス・アシスト・システム (Automix、アップミックス、ダウンミックス、KICK 対応)
- 256 DSP チャンネル、96 サミング・パス、96 AUX パスという処理容量
- 48 kHz および 96 kHz* 動作
- 包括的な Audio-Follow-Video 機能
- LiveView™ビデオ・サムネイル
- 3D / イマーシブ・ミキシング・ツール搭載
- パラレル・コンプレッション
- ラウドネス・メータリング搭載
- 大規模な制作向けの強化された信号管理機能 (スワップとリロケートを含む)

HIGHLIGHTS FOR RECORDING & STREAMING

- LAWO グレードのマイクロフォン・プリアンプとプロセッシング・アルゴリズム
- マシン / DAW のリモート・コントロール
- 独立した 4 つのダイナミクス・モジュールを持つカスタマイズ可能な信号経路
- クリック・ノイズなしのディレイ調節
- パラレル・コンプレッション
- 超低騒音のコンソール・デザイン

HIGHLIGHTS FOR PERFORMING ARTS

- セレクティブリコール
- オーバースナップ (相対トリムセット)
- 複数のトリガーを含む包括的なシアター・オートメーションのキュー・リスト (MIDI、GPIO、LTC 等)
- Waves® プラグイン統合
- ワークフローに合わせて機能のカスタマイズが可能
- クリック・ノイズなしのディレイ調節
- A/B 入力切替
- カスケード接続された / 入れ子にした VCA
- 「視覚的」ミキシングが行える内蔵ラウドネス・メータリング

*) リリース予定

ASSOCIATED PRODUCTS

HIGH-QUALITY IP AUDIO I/O NODES

A__stage64 – WAN-capable Audio-to-IP Stagebox



- 19 インチ /4RU フレーム
- Mic/Line In×32、Line Out×16、AES3 In/Out×8、MADI×1、GPIO×8、Wordclock
- 1 GbE IP ストリーミング・ポート ×2 (ST2022-7 クラス C のポートとネットワークのリダンダンシー)
- PTP ↔ Wordclock 変換
- ST2110、AES67、RAVENNA
- オンボード WAN 機能

Power Core^{Gateway} – Modular IP Audio I/O Node



- 19 インチ /1RU フレーム
- モジュール式の入出力カードを介する入出力チャンネル ×64 : Mic/Line In、Line Out、AES3 In/Out、Dante、MADI、GPIO、Studio
- MADI 入出力チャンネル ×64
- 1 GbE IP ストリーミング・ポート ×2 (ST2022-7 クラス C)
- ST2110、AES67、RAVENNA
- オンボード WAN 機能

A__mic8 – High-quality Analog-to-IP Node



- 19 インチ /1RU フレーム
- Mic/Line In×8、Line Out×4、GPIO×8、Wordclock
- 1 GbE IP ストリーミング・ポート ×2 (ST2022-7 クラス C のポートとネットワークのリダンダンシー)
- PTP ↔ Wordclock 変換
- ST2110、AES67、RAVENNA

A__digital64 – AES3 Digital-to-IP Node



- 19 インチ /3RU フレーム
- AES3 In (SCR 搭載) ×32、AES3 Out×32、MADI×1、GPIO×8、Wordclock
- 1 GbE IP ストリーミング・ポート ×2 (ST2022-7 クラス C のポートとネットワークのリダンダンシー)
- PTP ↔ Wordclock 変換
- ST2110、AES67、RAVENNA

A__madi6 – MADI-to-IP Node



- 19 インチ /1RU フレーム
- 独立した MADI/IP ブリッジ ×3 : MADI×6、1 GbE IP ストリーミング・ポート ×6 (ST2022-7 クラス C のポートとネットワークのリダンダンシー)、Wordclock
- PTP ↔ Wordclock 変換
- ST2110、AES67、RAVENNA

V__pro8 – 8-Channel Video Processing Toolkit



- 19 インチ /1RU フレーム
- リダンダント電源
- SDI in×8、SDI out×8、MADI×2、1GbE×1
- エンベッダー / ディエンベッダー、フレーム・シンク、オーディオ & ビデオ・ディレイ、Dolby® E Auto Aligner、Dolby® E エンコーディング / デコーディング、LiveView サムネイル、シンク・ジェネレーター、タイムコード・ジェネレーター、AV 同期計測、サラウンド・ダウンミックス等

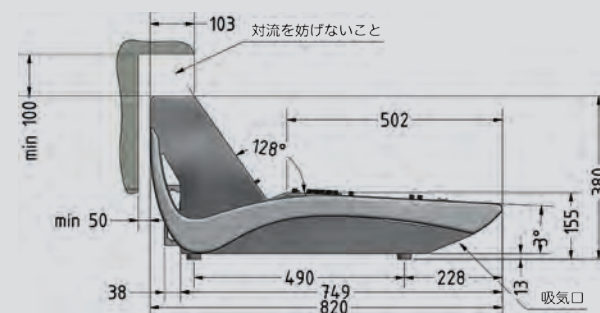
mc²36

SPECIFICATIONS

mc²36



STUDIO/LIVE VERSION



16 フェーダーのスタジオ / ライブ・バージョン

- 寸法：833×820×380 mm
- 重量：38 kg

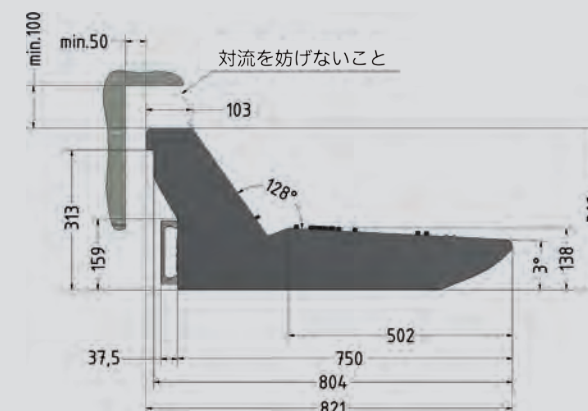
32 フェーダーのスタジオ / ライブ・バージョン

- 寸法：1343×820×380 mm
- 重量：55 kg

48 フェーダーのスタジオ / ライブ・バージョン *

- 寸法：1343×820×380 mm
- 重量：55.5 kg

OB TRUCK VERSION



16 フェーダーの OBトラック・バージョン

- 寸法：765×821×362 mm
- 重量：39 kg

32 フェーダーの OBトラック・バージョン

- 寸法：1,275×821×362 mm
- 重量：56 kg

48 フェーダーの OBトラック・バージョン

- 寸法：1,275×821×362 mm
- 重量：56.5 kg

コントロール・パネル

- 16、32、48 フェーダーのフレーム
- それぞれが2つのレイヤーを持つ6つのバンク
- 100 mm フェーダー + 機能割り当て式ロータリー・ノブ1個 + タッチセンスでモジュール表示が変わる各フェーダー用のチャンネル・ディスプレイ
- TFT メーター表示：バス割り当て、ダイナミクス用ゲイン・リダクション、A/V ステータス、VCA 割り当て、ミックス・マイナス、信号パッチング、メーター選択、Automix ステータスを含むモノ/ステレオ / 最大 7.1
- 例えば外部モニター上でのメーター表示に使える GUI ページ出力
- 10 個のセントラル・ユーザー・ボタン、2 個のセントラル・ユーザー・エンコーダー、1 個のトークバック・ボタン、それぞれ 8 つの機能を持つ 2 個のフェーダー・ユーザー・ボタン
- オプション・アクセサリ：台本用トレー

信号処理

- 40 ビット浮動小数点
- 256 DSP チャンネル (160 入力および 96 サミング・バス)
- A/B 入力付きの最大 160 入力、最大 96 個の AUX バス、最大 96 個のグループ、最大 96 個のメイン SUM、32 個の Automix グループ
- モノ / ステレオ / サラウンドへの素早いチャンネルおよびバス切替
- 最大 32 個のサラウンド・チャンネル、128 個の VCA グループ (メーター表示付き)、256 個の GP チャンネル
- サラウンド・フォーマット：DTS & Dolby® Digital 5.1、Dolby® Prologic 4.0、DTS ES & Dolby® EX 6.1、SDDS 7.1、DTS-HD 7.1、多様なパンニング特性、サラウンド AUX バス
- AFL×2：サラウンド 8 チャンネル ×1、ステレオ ×1
- PFL ステレオ ×2
- 128 個のイベント、Ember+ や GPI やマトリクス接続を介する制御、10 秒までのフェード時間エンベロープを備える Audio-follow-Video
- Solo In Place
- フェーダーに入力メーターを常設。チャンネル・ディスプレイ内でメーター・ポイントを INPUT、PF、AF、DIROUT、TRACK から選択
- EBU R128 と ATSC A/85 に準拠したラウドネス・メータリング。各チャンネルにはモメンタリーまたはショートタームを、サミング・チャンネルには平均測定を行い、平均 LUFS 値をヘッドラインに表示
- モジュール：MS デコーダー付き INMIX、デジタル・アンプ、2 バンド・フルパラメトリック・フィルター、4 バンド・フルパラメトリック EQ、2 バンド・フルパラメトリック・サイドチェーン・フィルター、インサート、1,800 ms までのディレイ (単位をメートル / ミリ秒 / フレーム間で切替可能)
- 独立した 4 つのダイナミクス・モジュール：エキスパンダー、ゲート、コンプレッサー (パラレル・コンプレッションを含む)、リミッター、イメージ、メーター、ダイレクトアウト

*) 2021 年第 3 四半期にリリース予定

mc²36

SPECIFICATIONS

- 5.1 チャンネルのそれぞれで利用可能な AMBIT アップミックス。ダウンミックス完全互換
- モノ/ステレオ/サラウンド・チャンネルに 32 個の Automix グループが使用でき、そのそれぞれには参加チャンネル数に制限なし
- 全チャンネル・パラメーターのカップリングとハイパー・パンニングが可能な機能フル装備のサラウンド・チャンネル

音声のハンドリング

- HOME – ネットワーク・リソースをダイナミックにサポートするルーティング
- RX および TX 音声用内部マトリクス
- 最大 384 の RX および TX ストリーム
- 1 ～ 128 音声チャンネルまでのストリーム・サイズ
- 最高 96 kHz*、24 ビット
- 全入出力のレベル調節
- サラウンド (7.1 まで) からステレオへのダウンミキシング
- 例えばディレクターの部屋のような離れた場所用のモニタリング・デバイスを統合
- 1,016 個の内部ループバック
- マトリクスや DSP のサイズからは独立したスナップショットとプロダクションの可搬性

Waves® プラグインの統合

- プラグインのパラメーターをスナップショットおよびプロダクション・データ内に保存する Waves SuperRack SoundGrid® の統合

インターフェイス

- Mic/Line In、Line Out、AES3、MADI、ST2110-30/-31 / AES67 / RAVENNA、DANTE®, GPIO、MIDI
- 1 GbE IP 音声ストリーミング・ポート ×3 (リダンダント)、1 GbE 管理ポート (リダンダント)
- ヘッドフォン

同期

- Blackburst*, Wordclock、PTP スレーブおよびグランドマスター・モード

リダンダンシー

- 電源ユニット、ネットワーク・インターフェイス (SMPTE ST2022-7 クラス C)

制御ユニット

- グローバルな A/B 入力切替
- 独立した off-air カンファレンスを持つ強化されたミックスマイナス制御
- 全レベル・パラメーターのフェーダー制御
- 多様なタリーとフェーダー・スタート・モード
- プログラム切替
- DAW マシン・コントロール
- Audio-follow-Video、最大 128 個のカメラ・タリー、イーサネットまたは GPI 制御
- GPI または電圧制御によるカメラ・マイクのリモート

リモート・メンテナンス

- mxGUI リモート・ソフトウェアを介する接続
- ソフトウェアの更新、エラー診断、リモートアシスタンス

外部制御システム

- ルーティングとマトリクス監視ユニットとチャンネル・パラメーターの Ember+ 制御プロトコルを介するリモート・コントロール
- mxGUI：ラップトップ/タブレット PC を介するリモート・コントロール
- 外部マトリクス・コントローラー：LAWO VSM、Evertz Magnum、EVS Cerebrum、GV Ignite、Ross Overdrive、Vizrt Viz Mosart、Imagine Magellan、BFE KSC、Pharos 等

COMPARISON

機能	mc ² 36	mc ² 56	mc ² 96
フレーム・サイズ	16、32、48	16 ～ 144*	24 ～ 200*
フェーダー	LAWO 高性能フェーダー	LAWO 高性能フェーダー	LAWO 高品質フェーダー
コンソール・コア	内蔵 (A__UHD Core に基づく)	A__UHD Core	A__UHD Core
DSP チャンネル数	256	最大 1,024	最大 1,024
タッチスクリーン	精密 PCT の HD タイプ	精密 PCT の HD タイプ	精密 PCT の HD タイプ
ストリップ毎のフリー・コントロール数	1	4	6
マルチユーザー運用	×	○	○
– フェーダー・ベイ毎のロータリー数	32	80	112
– ローカルなセーブ/リコール	○	×	○
LiveView™	○	○	○
ローカル入出力	○	○	○
ローカル入出力コネクタ	XLR	D-sub	XLR
– SMPTE2022-7 ローカル入出力リダンダンシー	内蔵	○	○
ユーザー・パネル数	n/a	2 (RTW なし) 1 (RTW TM7 付き) 0 (RTW TM9 付き)	2 + RTW TM9
ネイティブな 3D 音声制御	○	○	○
パラレル・コンプレッションへの直接アクセス	○	○	○
シーケンス・オートメーション	○	○	○
動的なタイムコード・オートメーション	×	○	○

*) デュアル・フェーダー・オプション搭載

mc²36

SMALL FOOTPRINT BIG PERFORMANCE

© 2020 Lawo AG. All rights reserved. Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation. Other company and product names mentioned herein may be trademarks of their respective owners. Product specifications are subject to change without notice. This material is provided for information purposes only; Lawo assumes no liability related to its use. As of December 2020.

www.lawo.com

